

安全－勤務外でも

明日もいつもと変わらず、怪我や事故なく、元気に出勤して欲しい－多くの怪我は、勤務外で起こっています。同僚や部下を管理する上であなた自身の安全は大変重要なのです。

自宅にいる時、旅行中、娯楽のひと時、職場での訓練や教育を通して学んだ安全についての知識を生かしてみましょう。

勤務外での安全に関する注意点は以下の通りです：

- 自宅を火災から守りましょう。電気故障や可燃性の不要物などがないかを定期的に検査します。
- 自宅には煙感知器を取り付けましょう。煙感知器は製造元の取扱説明書に応じて、保守点検をします。
- 自宅や乗り物に適した消火器を設置し、家族全員が使い方を熟知しておきます。取扱説明書に従い、消火器が正しく充填され、すぐに使用できる状態かを確認します。
- 定期的に家庭の避難訓練を行い、家族の一人一人が自分自身で逃げ出せるようにします。火災やその他の事態に備えて、家族全員共通の集合場所がを決めておきます。
- 家庭内で落下・転倒の危険が高い箇所をなくしておきます。階段はいつもきちんと整備された状態を維持し、通路や階段に沿って十分な明るさの照明を使用します。階段には一時的なものも含めて、物置き場として使用してはなりません。転倒防止のため、浴槽、シャワー室や洗面所の床にはすべり止めを取り付けましょう。
- 家庭内にある梯子が安全にすぐ可以使用の状態のものかを確認します。梯子や脚立の一番上の段に立ってはいけません。常に体を梯子に近づけ、上体をそらすように梯子から遠ざけ手はいけません。梯子ごと転倒する可能性があります。電球交換など、電気作業をする場合は、アルミニウムなどの金属の梯子を使用しないようにします。梯子を使った作業の際には頭上にある全ての送電線や電気設備から十分距離を取り作業をします。
- その他に感電の危険性があるものを避けます。例えば、水と電気は致命的です。濡れた手で台所用器具等の家電製品には触れないようにします。屋外、浴室や台所などの水気のある場所には漏電遮断器を取り付けます。配線や絶縁の損傷を防ぐために、電気設備の取り扱いには慎重に。
- 車輛等に乗車中は例え目と鼻の先までであっても常にシートベルトを締めます。
- アルコールや他の薬物を摂取した状態では運転しない。疲労や情緒不安定な場合も安全に車輛を運転する能力が欠如します。
- 勤務外でも適切な保護具を使用します。芝刈り機やチェーンソーを使用する場合は、安全靴と耳栓をします。電動工具や手工具を使用する際は眼の保護の為、安全ゴーグルを着用します。
- 掃除用洗剤や殺虫剤など家庭で使用する危険な薬品は正しいラベルを貼り、別の容器に移し替えず、元の容器のまま、子供やペットの手の届かない場所に保存します。

勤務中に学んだ安全意識を是非、家庭でも実践してみてください。あなたが明日も元気に仕事に来れますように。

